

AOA セミナー2023 セッション詳細

日時/セッション	講演者	講演概要
9/26(火) 9:00 - 10:15 セッション 1 (開会挨拶、基調講演)	ロドニー・スキャンロン カブリコーン・ミューチャル CEO (オーストラリア)	ホスト団体よりの歓迎セレモニーを含む歓迎スピーチ。
	柳井 二三夫 AOA 会長 (日本)	AOA 会長からの開会挨拶。
	ロブ・ウェセリング ICMIF 会長 (カナダ)	ICMIF 会長からの挨拶。
	メリーナ・モリソン BCCM CEO (オーストラリア)	オーストラリアにおける協同組合/相互扶助保険業界の歴史と将来展望。
9/26(火) 10:35 - 12:40 セッション 2 (魅力ある組織・職場づくり)	アダム・ヒース FMG CEO (ニュージーランド)	【世界で一番重要なことは何でしょうか?】 ニュージーランド(Aotearoa)の地方保険会社のリーダーである FMG の探索にアダムが加わりました。FMG の主要価値観、戦略、そして逆境下での回復力に焦点をあて、何が FMG と他の保険会社は異なるのかを明らかにします。特に、サイクロン・ガブリエルやオークランド記念日週末洪水後の FMG にとって 118 年の歴史の中で最も多くの保険金請求へのチャレンジについて説明します。 FMG がその対応としていかに共済の本質を強調してきたかを見たいです。FMG のビジョンは、厳しい時代を乗り越えて、強く繁栄する農村コミュニティの構築を支援することです。Te Ara Tika (前進の道)に反映された価値観は、「良いことをすることで好結果をもたらす」という FMG の信念を支えています。サービス・プロフィット・チェーンを通じて、収益性、顧客ロイヤルティ、従業員満足度のバランスのとれたアプローチを実現します。FMG のサステナビリティへのコミットメントや B コープメンバーシップ・ジャーニーについても学習します。 アダムの講演は、FMG とそのメンバーの共有されたジャーニーを描き、他者にとって貴重な洞察と学習を提供するものです。
	セシリア・ラグーナ ICISP EVP&COO (フィリピン)	【魅力ある職場づくりに向けた 1CISP のジャーニー】 「人材戦争」という言葉は、企業が熟練労働者の発掘と雇用において直面する困難を示すため 1997 年にマッキンゼーによって造られました。人口動態の変化や特定の資格に対する需要の増加により、多くの業界で人材の誘引、維持、育成が優秀な人材のための「戦い」の様相を呈しており、協同組合/相互扶助セクターも例外ではありません。組織が市場において競争力を獲得する方法を見つけようと努力している状況を踏まえ、ビジネス(協力組合/相互扶助セクターを含む)のリーダーと人事専門家は、この「人材戦争」について長年議論してきました。これは、パンデミック後、そしてデジタル化の時代において、これまで以上に重要になっています。 そのためには、魅力ある職場づくりが必要不可欠です。インテグリティ・ダイバーシティ、公平性、インクルージョン、オープン・コミュニケーション、コラボレーション、ワークライフインテグレーションを重視する場所、成長の機会を提供し、従業員の貢献、成果、マイルストーンに対して誇りを持って認識する場所です。前向きで協力的な職場環境であれば、従業員はきっと進んで職場に行き、組織に貢献するでしょう。このようなことについて 1CISP は皆さんと共有したいと思います。
	別部 直樹 JA 共済連人事部次長 (日本)	【JA 共済の魅力ある組織づくり～安心して生き活きと働ける組織・職場に向けて～】 1. JA 共済では組合員・利用者の生命と財産、農業や地域を守

日時/セッション	講演者	講演概要
		<p>るために、保障の提供を通じて豊かな生活づくりに努めています。</p> <p>2. そのような中、近年のワークライフバランスを重視した価値観の多様化や少子高齢化による就業人口の変化等、社会環境が変わりつつあります。また、コロナ禍を契機としたコミュニケーション機会の減少等の諸課題も発生しています。これらの課題に対応し、社会や職員に選ばれる組織へ向けた具体的な取組みをご紹介します。</p> <p>3. なお、今回のセッションではコミュニケーション活性化の取組みのひとつとして、弊会が実施しているカードゲーム(通称「染むカード」)をご参加のみなさんと一緒に楽しみながら、相互理解を深めたいと思います。お楽しみに!</p>
<p>9/26(火) 13:40 - 15:15 セッション 3 (CX: 持続可能な顧客体験戦略 - ブランディング、チャネル、共済の仕組、付加価値サービス、ロイヤリティなど)</p>	<p>高橋 忠雄 こくみん共済 coop 専務理事(日本)</p>	<p>【顧客体験視点で、持続的に業務基盤を変革し創造する“CX-Challenge”】</p> <p>コミュニケーションの多様化や商品価値のコモディティ化、及び、DXの進展などにより、消費行動は顧客主導が加速しています。この変化に適応すべく、こくみん共済 coop は顧客(組合員・生活者)とともに、持続的にCXを共創していくための変革と創造を進めています。また、より良いCX実現には職員の情熱や貢献実感などEXの充実が不可欠です。私たちはこれらの取組みを「CX-Challenge」として進めていますので、その概要をご紹介します。</p>
	<p>P.A. キリワンデニア サナサグループ会長(スリランカ)</p>	<p>[持続可能なビジネスモデル]</p>
	<p>ジャッキー・ミルズ カプリコーンソサエティ、チーフ・エクスペリエンス・オフィサー(オーストラリア)</p>	<p>[カプリコーンでのポジティブなメンバー体験の醸成]</p> <p>協同組合原則に基づき事業運営を誇り高く実施している会員ベースの組織として、カプリコーンは常に会員をあらゆる事業活動の中心に据えてきました。また、優先サプライヤー、当社の従業員、およびメンバーの従業員を含むカプリコーンコミュニティがますます拡大しております。カプリコーンの事業活動におけるあらゆる段階において、メンバーのポジティブな体験を醸成するためには、コミュニティのあらゆる局面において、相乗的な関係が必要です。</p> <p>その目的の実現を支援するために、カプリコーンでは市場や会員調査に関する広範なプログラムを開発しました。メンバーからのフィードバックに耳を傾け、それに基づいて行動することは、すべてのチームにおいてメンバーの要望を実現するために重要なものです。チーフ・エクスペリエンス・オフィサーである ジャッキー・ミルズ氏は、このプログラムのハイライトを共有し、これを将来にわたって継続的に開発する予定であることを報告します。</p>
<p>9/26(火) 15:35 - 17:15 セッション 4 (デジタル: デジタルイノベーションおよび/またはデジタルトランスフォーメーションによる顧客サービスの強化)</p>	<p>エメテリア・キハノ ASKI MBA CEO (フィリピン)</p>	<p>[DI や DX への対応と適用-ASKI の経験]</p> <p>I. はじめに</p> <p>-ASKI グループの概要 (ここでは、ASKI グループ、戦略的ビジネスユニット、フィリピンにおける営業地域を簡単にご紹介します。)</p> <p>-ASKI MBA のハイライト (ASKI の戦略的ビジネスユニットの一つとしての ASKI MBA の運営をハイライトします。)</p> <p>II. デジタル化への取り組み</p> <p>-フィリピンのマイクロインシュアランス MBA 協会(MiMAP) (フィリピンのマイクロインシュアランス MBA 協会の会員であり、前会長として、ネットワークのデジタル革新や会員について説明します)。</p>

日時/セッション	講演者	講演概要
		<p>-ASKI グループ (ASKI グループのデジタル革新の取組について説明します。) III. ASKI のデジタルジャーニーの喜びと課題 (デジタル革新にかかる ASKI の喜びと課題を共有します。) IV. ASKI のデジタル革新の一つにかかる 3 分間のビデオ・プレゼンテーション (最後に、ASKI のローン・マネジメント・システムに焦点をあてた 3 分間の動画をお流しします。これはフィリピンのマイクロファイナンス評議会、フィリピン中央銀行、シティ財団が主催した「第 1 回デジタル金融包摂賞」のセミファイナリストとなったものです。)</p>
	<p>坂本 繁 コープ共済連 共済推進担当執行役員 (日本)</p>	<p>【CO・OP 共済 ～組合員の声を生かし、人中心の DX を実現する～】 CO・OP 共済の紹介、組合員の声を生かした DX および組合員の生活や日本全国の生協職員に寄り添ったデジタル技術の推進についてお話しします。かつては専業主婦を中心としていた CO・OP 共済の加入者は、今では女性や若者を中心に、多様なライフスタイルを送っています。CO・OP 共済では DX 技術を使い、一人ひとりに寄り添ったシステム開発を行っています。 CO・OP 共済では、デジタル化をすすめると同時に、誰も置き去りにしない仕組みづくりにも力を入れています。DX を活用しながら、組合員のくらしを総合的にサポートし、組合員どうしがたすけあいを実感できる共済を目指す CO・OP 共済の取り組みをご紹介します。</p>
	<p>アシャベン・アジメール Vimo SEWA 会長(インド) ルチ・アガーウォール Vimo SEWA CEO(インド)</p>	<p>【VimoSEWA のデジタルジャーニー】 1. コロナ下でのロックダウンや様々な制限の中で、マニュアルやペーパーベースの運用からデジタルプラットフォームへの移行が加速しました。コロナ下の間、オンラインでのトレーニングやミーティングが直接的なミーティングに取って代わりました。これにより、継続的なサービス・運用が可能となりました。 2. VimoSEWA では、スタッフや最前線の保険プロモーターのために保険登録や請求勧奨等のエンド・ツー・エンド・オペレーションのデジタル・インターフェースである独自のモバイルアプリケーションを開発しました。このアプリは CRM(顧客関係管理)システムとしても機能します。 3. 最前線の保険プロモーターやコミュニティ・メンバーのためのデジタル金融リテラシーは、様々な地域で行われており、財務面の安全性やリスク管理に関する意識を高めています。保険に関する情報の普及は、行動変容コミュニケーションツールや IEC 資料をデジタルや印刷形式を組み合わせることで配布することによって促進しています。 4. また、AV ツールやデジタルプラットフォームを活用し、保険のマーケティングやプロモーションを行っています。また、最前線の保険プロモーターは、モバイルアプリを活用し、デジタル方式による保険サービスを提供しています。</p>
<p>9/27(水) 9:30 - 10:40 特別講演</p>	<p>ヤニック・エヴェン スイス再保険、グローバルアナリティクス ビジネスパートナー(スイス) ピュッシュ・シャルマ スイス再保険、シニア・プロパティ&カジュアルティ ソリューション・マネージャー(オーストラリア)</p>	<p>【AI と機械学習が保険にもたらす革新】 本セッションでは、実用性のある機械学習がどのように保険業界の展望を再形成し、アジア太平洋地域全体での着実な価値創出や革新をもたらしているのかについて、解説していきます。 1. (再)保険業界におけるデータアナリティクスと AI の将来 AI の軌跡、幅広いトレンド、保険バリューチェーン全体にわたる活用、効果的な AI 戦略の策定に伴う重要課題について、ヤニック・エヴァンが包括的に解説します。 2. データアナリティクスと AI の活用: 実践的な機械学習を</p>

日時/セッション	講演者	講演概要
		<p>介した保険における価値創出</p> <p>スイスリー・リインシュランス・ソリューションズが取り組んできた、損害保険会社における分析と機械学習のビジネス活用の実践例について、ピユッシュ シャルマが解説します。具体的には次の3つの点について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 外部データセットを活用した、日本、オーストラリア、ニュージーランドの不動産リスク理解の強化 b. 衛星画像・航空写真上の AI 活用 による支払査定と対応方法の効率化 c. 機械学習主導の洞察力に富んだ顧客行動分析による顧客維持率の改善
<p>9/27(水) 11:00 - 13:00 セッション 5 (気候変動への取り組み)</p>	<p>ラーデ・ムスリン フィニティコンサルティング、プリンシパル (オーストラリア)</p>	<p>【天候リスクの全体論的視座：異常気象、海面上昇、脱炭素化、経済、政治、そしてそれらの相互作用】</p> <p>天候リスクは超大型台風や猛威を振るう山火事以上のものです。また、経済を動かし、サプライチェーンを構築し、リスクを開示し、経済活動を測定する方法にも大きな変化を引き起こしています。これにより、リスク (および機会) の状況が変化し、リスク管理者は、多くの分野にわたる複雑な相互作用を考慮したリスク管理への総合的なアプローチが求められます。このセッションでは、これが金融機関に与える影響を検証します。</p>
	<p>アリソン・ドリル スイス再保険 ヘッド PCSS APAC(オーストラリア)</p>	<p>【気候変動に対応する保険の取り組み】</p> <p>(再)保険会社が気候変動リスクにどのように対応しているかを示す実践例として、ドリル氏はスイス再保険会社がどのようにして天候変動リスクをサステナビリティ戦略に組み込もうとしているかを概説し、APAC の保険会社に関連する天候リスクのイノベーションとソリューションの例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 自然災害ハザードと天候変動インパクトからの物理的天候リスクの測定 2. 手頃な保険料の課題に対するリスク軽減と気候適応への奨励 3. 移行リスクに対する引受業務と商品組成 4. 持続可能性のリスク管理フレームワークとビジネス戦略への組み込み
	<p>ノエル・ラボーイ CLIMBS CEO(フィリピン)</p>	<p>【気候変動にかかる CLIMBS の取り組み】</p>